

# 平成30年度4回福崎町地域公共交通活性化協議会会議録

1. 日時 平成31年3月28日(木) 14:00~15:15

2. 場所 福崎町役場庁舎 2階 大会議室

3. 委員の出欠

	所属・役職等	氏名	備考
会長	兵庫県立大学名誉教授	松本 滋	
委員	福崎町区長会副会長	黒田 義孝	(欠席)
	福崎町老人クラブ連合会長	藤岡 修	
	福崎町商工会長	谷口 守男	
	J R 西日本福崎駅 副駅長	永井 英樹	(欠席)
	神姫バス株式会社 姫路営業所長	魚谷 観	
	社団法人 兵庫県バス協会専務理事	中澤 秀明	(欠席)
	社団法人 兵庫県タクシー協会 西播支部副支部長 (神崎交通株式会社)	依藤 義光	
	神姫バス労働組合 執行委員	濱田 崇広	(欠席)
	国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門首席運輸企画専門官	岩野 住之	
	中播磨県民センター姫路土木事務所 企画調整担当所長補佐	當舎 良章	
	福崎警察署 交通課長	新田 隆弘	
	福崎町議会議員 (民生まちづくり常任委員会)	小林 博	(欠席)
	福崎町議会議員 (総務文教常任委員会)	三輪 一朝	(欠席)
	副町長	尾崎 吉晴	
技監	吉栖 雅人	(欠席)	
オブザーバー	近畿地方整備局姫路河川国道事務所 道路管理第二課長	竹内 浩二	(欠席)
	兵庫県県土整備部県土企画局 交通政策課 副課長	正垣 あおい	(欠席)

事務局	まちづくり課長	福永 聡	
	健康福祉課長	三木 雅人	
	健康福祉課課長補佐	大畑 由起	
	まちづくり課係長	藤田 裕文	
	まちづくり課主査	佐野 允保	

#### 4. 配布資料

- ・次 第
- ・座席位置表及び委員名簿
- ・資料1 サルビア号及び大学バスの利用状況等について
- ・資料2 地域公共交通にかかる事業進捗の確認及び達成状況の評価について
- ・資料3 平成30年度地域公共交通優良団体近畿運輸局長表彰の受賞について
- ・資料4 姫路市デマンド型乗合タクシーの社会実験の中間報告について
- ・資料5 UDタクシー（トヨタジャパンタクシー）の導入について
- ・資料6 神姫バス及び高速バス路線の運行本数等の変更について
- ・資料7 来年度に向けての取り組み（案）について
- ・日本海と瀬戸内海を結ぶ播但線複線電化促進期成同盟会（クリアファイル）

#### 5. 傍聴の可否

傍聴可、傍聴人3名

#### 6. 会議録（司会 まちづくり課長）

##### 1 開会

##### 2 あいさつ（松本会長）

##### 3 報告事項

##### (1) サルビア号及び大学バスの利用状況等について

会 長 それでは 報告事項（1）「サルビア号及び大学バスの利用状況等」について事務局に説明していただきます。

事 務 局 報告事項（1）サルビア号及び大学バスの利用状況等について説明いたします。資料1をご覧ください。

2ページをご覧ください。

こちらは、平成30年度の2月までの巡回バスに係る実績の利用者数をお示ししています。また、下段の表で、平成29年度の年間実績をお示ししています。

巡回バスの利用状況についてですが、平成30年度の全体の利用者数は、災害レベルの猛暑や台風等の悪天候の影響により、前年比96.7%と予想しています。各路線の利用状況では、まちなか便、川東便で特定のバス停の利用数が減少していました。

まちなか便については、役場バス停や馬田バス停が大きく減少しています。頻繁に利用されていた方が高齢や病気等の理由により、巡回バスを利用されなくなったと考えています。また、通学・通勤など幅広い年齢層の利用を促進するため、今年度の改編により、まちなか便の運行時間を1時間早めて福崎駅までの運行を開始しましたが、利用は少ない状況です。

また、1時間運行を早めたため、運行終了も1時間早くなりました。大学バスで空白時間の解消対策をしましたが、まちなか便の最終便を利用

されていた方が利用できなくなり、まちなか便の利用者数に影響したと  
思っています。

今年度の実績を踏まえ、平成31年度に従来の最終便を再度運行する予  
定としており、利用者数も増加すると考えています。

川西便は、前年比約120%の見込みとなっております。

10月の改編後、1月あたりで見ると、約1.7倍に増加しています。  
運行日数の増（奇数日運行を月～土曜日運行へ改編）にもかかわらず、  
1日平均利用者数が大きく減少することなく推移しており、町民の日常  
生活の移動手段として活用されていることが伺えます。

川東便については、中島の医療機関前バス停の利用が減少しています。  
医療機関に確認しますと、施設に入院されている方が外出時に利用され  
ていましたが、今回の改編で運行日を変更したことにより外出日と運行  
日が合わず、利用ができなくなり利用者数が減少したことが分かりまし  
た。町民の外出支援及び巡回バス利用促進に繋がるよう医療機関と協議  
を行い、バス利用が可能となるよう対策を講じました。現在は、医療機  
関に外出日を運行日に合わせて変更いただいたため、利用可能となっ  
ています。

川東便の医療機関の利用者数の減があったものの、1日平均利用者数が  
大きく減少していないことから、地域公共交通を利用する意識が低い地  
域ではありますが新規の利用者が増加していると考えています。

今回の改編で、ライフや文化センターにまちなか便に乗り継ぎをするこ  
となく直行便で行けるようになりました。ライフ前で延べ約30人、文  
化センターでは延べ約100人の乗降があり、買い物や町の体育館への  
移動などに活用されていることが分かります。

買い物便及び市川連携バスについてです。10月から新規運行を行っ  
ています。改編とともに新規運行の周知のため、町内の自治会（全33  
地区中、27地区（28箇所））での説明会を実施しました。

買い物便については、定時定路線運行です。予約運行型運行に抵抗があ  
る方でも安心して利用できるという声があります。

市川連携バスは、自治体間で連携運行を行い、医療施設や商業施設への  
移動需要に対応しています。各便については、月を追うごとに徐々に利  
用者が増加しています。これからも周知を進めていきたいと考えていま  
す。

3ページをご覧ください。大学バスの利用状況になります。

市町村運営有償運送制度の改正を受けて、神戸医療福祉大学と連携し大  
学バスを運行しています。午後5時前から午後10時前に運行していま  
す。夜間運行ということで心配していましたが、現在のところ特にトラ  
ブルもなく運行し、利用も増加しつつある状況です。

どの路線においても、町民のみなさんの日常生活の利便性向上のため  
にも、利用方法などを理解していただき、利用促進に繋がるよう周知活動

に力を入れていきたいと思っています。

資料の4～5ページに内容をまとめておりますので、後程ご覧ください。

以上で、報告事項1についての説明を終了します。

会 長 説明が終わりましたが、何かご意見ご質問がありましたらどうぞ。

(なし)

## (2) 地域公共交通にかかる事業進捗の確認及び達成状況の評価について

会 長 それでは 報告事項(2)「地域公共交通にかかる事業進捗の確認及び達成状況の評価」について事務局に説明していただきます。

事 務 局 報告事項(2) 地域公共交通にかかる事業進捗の確認及び達成状況の評価について、説明いたします。こちらは昨年度策定した地域公共交通網形成計画の中で、毎年事業評価をすることとしています。

資料2をご覧ください。

(2ページ)

基本方針1 “まちの玄関口” の整備です。こちらは計画書P55～57に記載しています。達成項目としては、平成26年度から実施しているJR福崎駅周辺整備事業の推進です。こちらは今年8月から9月を目途に完成となります。

来年度以降は、駅周辺のユニバーサルデザイン化、分かりやすいサイン計画の実施、交流広場での参加型イベント等の実施、パーク&ライド駐車場の確保及び周知をすすめようと考えています。

(3ページ)

基本方針2 まちなかの回遊性向上です。こちらは計画書P58～60に記載しています。

達成項目としては、社会の変化に応じたまちなか便の運行改善、大学バスとの連携によるまちなか巡回交流軸の増強です。

来年度以降は、バスの待ち合い環境の改善、観光と公共交通の連携、タクシーとの連携によるまちなかの活性化等を進めていきたいと考えています。

(4ページ)

基本方針3 郊外におけるバス利便性の向上です。こちらは計画書P61～65に記載しています。

達成項目としては、川西地区のサービス強化、川西地区運行車両の増強(8人乗り→12人乗り)、川東地区のサービス強化(運行日数増)、買い物バスの導入です。

来年度以降には、郊外便のサービス最適化、シニアカー等の専用駐車場の整備、高速バスのパーク&ライド駐車場等確保の検討を考えています。

(5ページ)

基本方針4 町外との連携による交流人口の増加です。こちらは計画書P66～68に記載しています。

達成項目は、市川町との連携コミュニティバスの運行（平成30年10月2日～）です。

来年度以降は、姫路市との連携コミュニティバスの運行を検討したいと思っています。

（6ページ）

基本方針5 利用しやすく持続可能な公共交通づくりです。こちらは計画書P69～77に記載しています。

達成項目は、総合的な公共交通情報の充実（HPの作成等）、モビリティ・マネジメント活動の実施、公共交通広報活動、利用促進チラシ作成、自動車運転免許自主返納の推進、適切な料金制度の導入です。

来年度以降は、地元企業等の参画推進、エコ通勤・ノーマイカーデーの推進、高齢者・障がい者への外出支援の推進を考えています。

（7ページ）

公共交通利用促進施策の取り組み状況です。公共交通モビリティ・マネジメント活動の結果ということで、説明させていただきます。

実施は平成30年6月24日～平成31年2月4日までです。実施地区は28地区で、合計参加者は約600名です。アンケートを実施し、回収率は97%です。

（8ページ）

参加者の概要です。地区ごとの参加者数・回答者数をお示ししています。

（9ページ）

回答者の年齢・性別をまとめた資料です。女性の方が多く参加されています。年齢は主に利用されている75歳以上の方が52%、過半数となっています。

（10ページ）

アンケート取りまとめ結果等です。「利用したい」という回答が約半数、49%となっています。右側に自由意見の抜粋を記載しています。「買い物をする時間が短い、ゆとりが欲しい。」「川西から川東へ行くのに乗り換えが大変。」「利用するには慣れが必要」「体験ツアーをして欲しい」というような意見がありました。地区によっては民生委員さんなどが体験乗車を企画していただいたところもあります。

また「マリア病院や加西病院・イオン方面に行きたい」「免許返納後が不安」「乗車場所が遠い」といったご意見をいただいています。こういった声を参考に、来年度、反映できるものは反映していきたいと考えています。

（11ページ）

福崎町公共交通総合ホームページの開設についてです。バナーをクリックしていただくと、ご覧のような画面が出てきます。また一度ご覧いただきたいと思います。

以上で、報告事項2についての説明を終了します。

- 会 長 説明が終わりましたが、何かご意見ご質問がありましたらどうぞ。
- 委 員 10ページ、今後の公共交通の利用意向について。まちなか便を今後利用したいという回答割合が、他のバス便と比べて低いと思いますが、何か原因はあるのでしょうか。
- 事 務 局 まちなか便は、商業施設等の集積地を回っています。実際にはバスを使わなくてもそういったところへ行けてしまうというところが、多少影響しているのかもしれませんが。
- 会 長 まちなか便を利用されている方の回答数が少ないですね。
- 事 務 局 実際にはまちなか便の利用者が一番多いです。この説明会は自治会にお願いして実施してもらいましたので、年齢の低い方が少なかったのだと思っています。まちなか便については、比較的若い方も利用されています。

### (3) 平成30年度地域公共交通優良団体近畿運輸局長表彰の受賞について

- 会 長 それでは 報告事項(3)「平成30年度地域公共交通優良団体近畿運輸局長表彰の受賞」について事務局に説明していただきます。
- 事 務 局 報告事項(3)平成30年度地域公共交通優良団体近畿運輸局長表彰の受賞について説明いたします。資料3をご覧ください。
- 本協議会の取り組みに際し、本年度、滋賀県の「ゆりかごタクシー」の運行事業とともに近畿運輸局長表彰をいただきました。当協議会からは会長が、福崎町からは町長が出席いたしました。ホームページや町広報により周知をさせていただいています。
- 以上で、報告事項3についての説明を終了します。

### (4) 姫路市デマンド型乗合タクシーの社会実験の中間報告について

- 会 長 それでは 報告事項(4)「姫路市デマンド型乗合タクシーの社会実験の中間報告」について事務局に説明していただきます。
- 事 務 局 報告事項(4) 姫路市デマンド型乗合タクシーの社会実験の中間報告について説明いたします。資料4をご覧ください。
- (2ページ)
- こちらは前回の協議会で報告した資料と同じです。社会実験が平成31年1月21日から3月29日の間で実施されています。月曜日は前之庄地域、水・金曜日は福崎町を回る運行ルートとなっています。
- (3ページ)
- こちらは姫路市から提供いただいた資料です。運行回数は少ないですが、利用人数はかなり多くなっています。事前登録者数は136名です。こちらは予想の3～4倍であるとのことです。
- 実際の利用については地区ごとに検討されたようですが、結果として利用は金曜日に集中しています。1月・2月で4回運行され、57名が利用されています。ただ、まちなか便の利用が金曜日に集中したこともあ

って、まちなか便の積み残しも発生したようです。

3月分については口頭のみ報告になりますが、多くの利用があったと聞いています。

利用促進策としては、事前登録者向けに電話のかけ方や利用できる施設等を記載したチラシを作成・配布します。また、自治会等を通じて事前登録者に対して利用の呼びかけを行ったと聞いています。

(4ページ)

今後の流れ等についてです。事業者(神崎交通(株))へのヒアリングを行うと聞いています。また、3月下旬から4月上旬にかけて、事前登録者へアンケートを実施されます。これらを検証及びフィードバックし、6～7月の姫路市の地域公共交通会議に報告するという事です。事業評価及び本格運行可否についてもここで判断したいと聞いています。本格運行となる場合は、福崎町地域公共交通活性化協議会でも協議を行わせていただく形になります。

以上で、報告事項4についての説明を終了します。

会 長 説明が終わりましたが、何かご意見ご質問がありましたらどうぞ。

委 員 積み残しが出たという説明がありました。どう対応をしたのでしょうか。また、福崎町の住民へどのような影響がでたのでしょうか。

事務局 あくまで社会実験であるから、という前提になるのですが、実際に積み残しが出た時には姫路市職員が乗れなかった方を公用車でライフ等へ乗せて行かれたようです。適切な形ではありませんので、今後の対応は協議が必要であると思います。帰りについても、もちむぎのやかたから乗れなかった事例があるようで、対応を考えないといけないと思います。その後、住民が乗れなかった事例はありませんでした。

会 長 事前登録者の中には福崎町民もいらっしゃるのですか。

事務局 全員、姫路市夢前町の方です。

委 員 3月下旬から4月上旬にかけて実施されるアンケート結果は、福崎町にもフィードバックされるのでしょうか。

事務局 はい。今聞いている意見としては「朝に来られて12時半ごろに帰る便」についてです。片道500円とまちなか便100円を往復すると1200円かかります。それだけのお金をかけるのであれば、もう少し長く滞在したいというものです。ライフやもちむぎのやかたへ行くと帰れないので、もう少しゆっくり廻れたらいいのという声を利用者から聞いています。

#### (5) UDタクシー(トヨタジャパンタクシー)の導入について

会 長 それでは 報告事項(5)「UDタクシー(トヨタジャパンタクシー)の導入」について事務局に説明していただきます。

事務局 報告事項(5)UDタクシー(トヨタジャパンタクシー)の導入について説明いたします。資料5をご覧ください。

高齢化社会の進展や障がい者の社会進出への対応は重要な課題となっています。タクシー事業はドア・ツー・ドアの運送が可能であり、今後その必要性や存在意義が増していくことが予想されています。国は地域公共交通確保維持改善を図る中で、バリアフリー化設備等整備事業を補助対象事業とし、UDタクシーに対しても上限60万円/台の補助金交付要綱を制定しています。平成30年1月に兵庫地域福祉タクシー導入協議会が設立され、事業者及び事業者の営業所の存する市町も当該協議会の委員となり協議が行われています。平成30年度には神崎交通（株）が1台導入されています。車両導入に際しては、3名以上のユニバーサル講習受講ドライバーが必要となるものです。平成31年度も神崎交通（株）が1台導入希望されており、平成31年3月8日開催の協議会において全会一致で承認されています。協議会には県内26社及び6市町（神戸・尼崎・芦屋・赤穂・福崎）が参加されています。

3ページは外装、4ページは内装の資料となっています。

利用状況や利用者からの声について、神崎交通（株）から補足説明をお願いします。

委員 車高が低く天井が高いため乗りやすく、空間が広々と使えます。他市町では身障者が予約されて乗るという事例もあると聞いています。ただ、当社では今のところそういった予約はありません。

事務局 以上で、報告事項5についての説明を終了します。

会長 一般の方がこのタクシーに乗るということもあるんですね。

委員 はい。身障者の車いすごと載せることができるようになっていきますので、年間に何回か乗り降りの練習をするように指導もきています。

委員 車椅子利用者が乗る場合、その他には何名乗ることができるのですか。

委員 2名です。

委員 車椅子利用者が1名、健常者が2名というイメージですね。車椅子が乗らない場合は、普通のタクシーと同じで4人乗れるのでしょうか。

委員 はい。

委員 排気量はどのくらいでしょうか。

委員 1500cc程度だと思います。エンジンは小さいですが、燃費は比較的良いです。

#### （6）神姫バス及び高速バス路線の運行本数等の変更について

会長 それでは 報告事項（6）「神姫バス及び高速バス路線の運行本数等の変更」について事務局に説明していただきます。

事務局 報告事項（6）神姫バス及び高速バス路線の運行本数等の変更について説明いたします。資料6をご覧ください。

（2ページ）

平成31年4月1日から変更となる神姫バスの時刻表です。北条と姫路駅をつなぐ62系統と、国道312号を通過して福崎駅前と姫路駅をつな

ぐ84系統です。赤線を引いているところが減便になります。乗務員不足が非常に深刻であり、路線維持のためやむを得ず減便されると聞いています。こちらは3月広報及びホームページで周知しています。

(3ページ)

中国ハイウェイバスの平日時刻表です。赤線部分が減便となっており、原因を右側に記載しています。北条までの短縮であったり、特急化ということで福崎を通過する形で減便になっています。乗務員不足が深刻であるとお聞きしています。こちらホームページで周知しています。

(4ページ)

中国ハイウェイバスの運賃改定についてです。改定は平成31年4月1日からとなります。内容については資料のとおりです。

神姫バスから補足説明をお願いします。

委員 非常に心苦しいですが、こういった減便にいたった背景について説明をさせていただきます。事務局からも説明いただきましたが、運転手不足が続いています。また、働き方改革の中で労働条件の改善も喫緊の課題となっています。費用の収支改善も求められています。賃金を含めた労働条件の改善の中で、賃金見直し、バス運転手の定着率改善を図るためにも見直しをはかっています。費用増大の要因として安全対策面も大きく影響しています。安全対策のついた車両であったり、ドライブレコーダー・デジタルレコーダーの整備、運行管理者の増員、安全研修の実施などです。新規雇用が進んでいないこともあり、運転手の高齢化が進んでいます。健康に起因する事故も世間をにぎわせています関係で、従来の定期検診に加えた健康対策を実施しています。そういった費用も徐々に増大しており、収支改善を求められていることも背景として値上げにつながっています。詳細は担当から説明いたします。

神姫バス 減便についてですが、利用しているお客さまへの影響が少ない箇所を選定させていただいています。費用については安全対策等によるものです。減便については福崎町でも周知いただいています。弊社でもホームページで減便の告知をさせていただいています。

会長 公共交通活性化協議会としては誠に苦しい報告ですが、説明が終わりましたが、何かご意見ご質問がありましたらどうぞ。

委員 高速バスの値上げの説明がありましたが、消費税増税時にも値上げの予定はあるのでしょうか。

委員 高速バスについては、10月に改定の予定はありません。

事務局 路線バス料金は10月に改定されると聞いていますが、4月に改定の予定はないとのことです。

委員 ハイウェイバスについてお尋ねします。私も大阪へ行く際には重宝していましたが、残念な思いです。これは福崎や福崎より西の利用客が少ないということなののでしょうか。私が乗る時にはいつも満員で黒字路線なのかと思っていたのですか。

- 委員 そうではありません。全体として津山～大阪は結構な利用があります。その途中の利用が少ないということです。滝野社より東の利用は多くなっています。
- 委員 福崎や加西はどうでしょうか。
- 神姫バス 滝野社以東よりは少ないですが、ある程度いらっしゃいます。利用者数というよりは、共同運行している西日本JRバスの乗務員不足や、事務所が大阪にありますので、乗務員の拘束時間の関係でこのような形になっています。
- 委員 「北条短縮」となっているのは加西サービスエリアも通らないということですか。
- 神姫バス はい。（加西インターで高速を降り）アステシア加西で運行終了します。
- 委員 滝野社までの便数は現状維持になるのですか。
- 委員 そちらも減便になります。
- 委員 ハイウェイバスの利用者は減っているのですか。
- 委員 減ってきています。
- 会長 人口そのものが減ってきています。私どもが認める、認めないという話ではありませんので、今後ともよろしくお願いします。

#### （7）来年度に向けての取り組み（案）について

会長 それでは 報告事項（7）「来年度に向けての取り組み（案）」について事務局に説明していただきます。

事務局 報告事項（7）来年度に向けての取り組み（案）について説明いたします。資料7をご覧ください。

（2ページ）

まちなか便についてです。

①休憩場所を午前中はもちむぎのやかたに変更します。午後は図書館に変更します。時刻表が少し変わります。②運行時間を変更します。早朝便を廃止し、夕方便を復活します。③バス停を増やします。これはジョーシン北にマルアイの進出計画があるためです。

（3ページ）

現行まちなか便の時刻表です。早朝便2便を廃止し、16時30分発便の復活を計画します。また、休憩場所を午前中はもちむぎのやかたに、午後は図書館に変更します。

（4ページ）

川西便についてです。

①乗り継ぎ負担の軽減です。アンケートで要望のあったライフへの乗継ぎなし運行を実施します。併せて（仮）辻川観光交流センター前への停車を予定しています。田口方面から乗り継ぎなしで第1デイサービスセンターへ直接行きたいという要望もありましたので、路線を延長します。また、現在は回送便が多いのですが、可能な限り回送をなくし巡回型へ

変更したいと考えています。②運行回数についてです。現行の川西A・川西B各5便を、各6便へ増便します。③バス停の増便を検討します。山崎2箇所、駅東、福田南を考えています。

(5ページ)

現行の郊外便(川西地区)時刻表です。

(6ページ)

路線変更のイメージ図です。

(7ページ)

川東便についても、バス停増の検討を行います。また、運行時間の精査を行います。

買い物便については、一部路線でフリー降車の検討を行います。このため4月上旬に福崎警察と現地確認を行います。また、運行日の固定を行います。現行は火・木曜運行を八千種と大貫で入れ替えています。利用実績等を勘案し「火曜日を八千種地区」「木曜日を大貫地区」と曜日を固定して運行したいと思います。また、運行形態の変更を行います。

(8ページ)

買い物バスの現行時刻表です。

(9ページ)

買い物バス時刻表の変更案です。

(10ページ)

市川町連携コミバスについてです。運行ダイヤを変更します。また、市川町側のバス停を5箇所程度増やしたいと考えています。国道312号沿い、落合・保喜方面で考えています。これにより、増加させるバス停を利用する方については、市川町役場での乗り換えなしで福崎町内の商業施設を利用することが可能となります。

大学バスについては、広報活動を継続したいと思います。

(11ページ)

市川町連携コミバスの運行ルート変更案です。

(12ページ)

その他の案です。2019年10月1日に時刻表の改編を予定しています。あわせて、利用促進チラシの作成・ホームページのメンテナンス・コミバスサポーターの募集継続・モビリティマネジメント活動の継続・福崎駅パーク&ライド駐車場マップ作成を行います。

(13ページ)

パーク&ライド駐車場マップのサンプル(溝口駅の例)です。こういったものを福崎駅周辺でも作りたいと考えており、4月又は5月の区長文書で全戸配布したいと考えています。また、別途A2サイズでポスターを作成し、各施設へ配布します。発行者は本協議会とします。

(14ページ)

情報提供です。4月1日に福崎駅前交通広場の供用を開始します。4月

1日に関係者をお招きし開通式を実施します。

以上で、報告事項7についての説明を終了します。

会 長 パーク&ライド駐車場マップについて。月極めと時間貸しを色分けする等の工夫はできないでしょうか。

事務局 両方やられている駐車場もあります。ご意見としてお聞きしておきます。

会 長 その他情報の掲載はどうでしょうか。

事務局 料金がバラバラで、掲載を遠慮したいという方もいらっしゃいます。その辺りはなかなか難しい。こういう駐車場がありますよという周知を行いたいと思います。

委 員 チラシに掲載してもよいという確認はとれているのですか。

事務局 とれておりません。了解が得られたところだけを掲載しようと考えています。

会 長 駐車場があるということ自体を掲載できないということですか。

事務局 パーク&ライドというよりは「利用者が固定された近所の方のための駐車場」という位置づけのところがあります。

会 長 今後、協議会開催の見通しはどうなっていますか。

事務局 6月から7月かけて、1回は協議会の開催をお願いすることになると思います。ただ、姫路市さんとの協議状況によっては、中間的に報告させていただくことがあるかもしれません。

#### 4 その他

会 長 4 その他の項目に移ります。全体を通して何かありますか。

事務局 本日お付けしているクリアファイルについてです。播但線複線電化促進期成同盟会で作成したクリアファイルですので、またご利用いただきますようお願いいたします。

会 長 その他ありますか。

(なし)

会 長 ご質問がないようですので、事務局に司会を戻します。

#### 5 閉会

事務局 会長ありがとうございました。

以上をもちまして、平成30年度第4回福崎町地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

—以上—